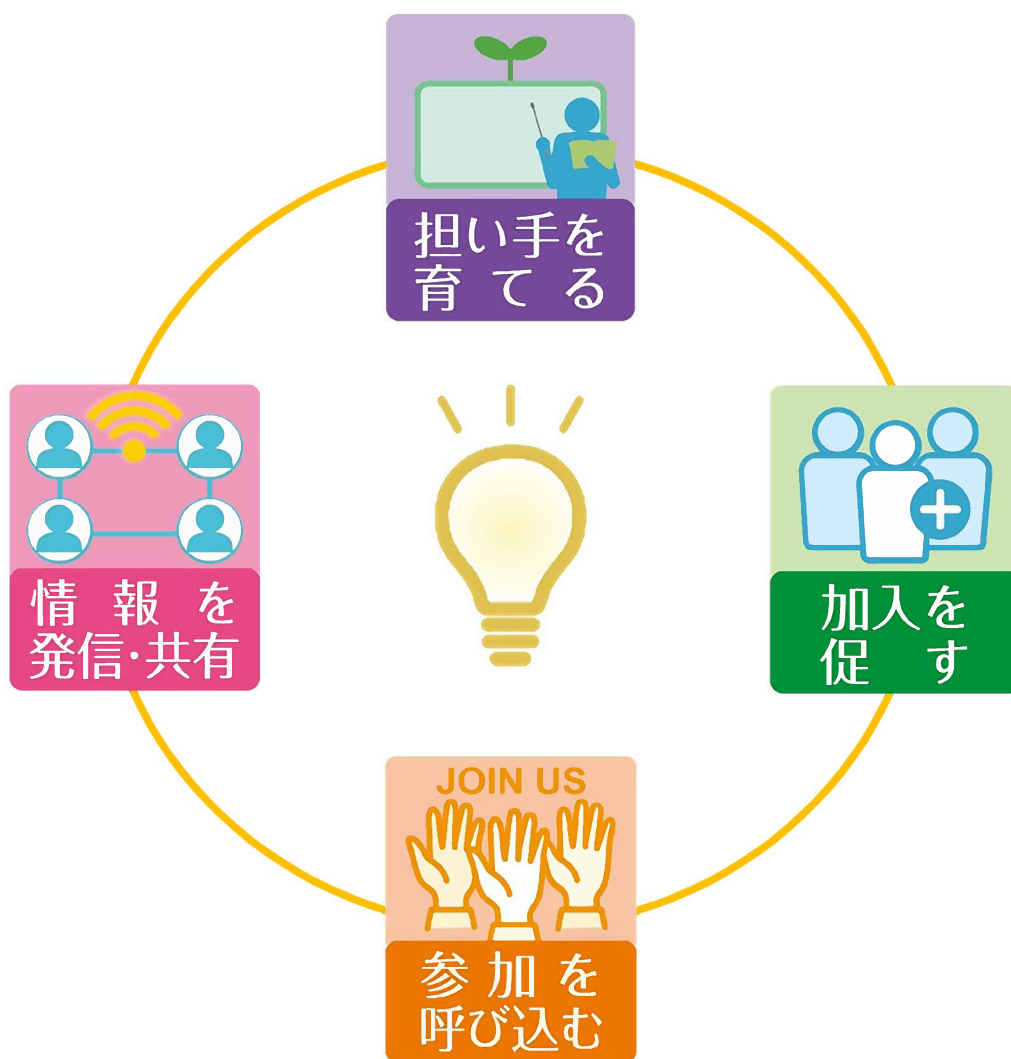


自治町会活動のヒント集



発行にあたって



令和2年1月、国内で初めて新型コロナウイルス感染症の感染者が確認されてから3年が経過し、マスクを付けることが私たちの生活習慣の一つとなりました。マスク着用について、政府は令和5年3月13日から個人の判断に委ねる方針を決定しましたが、まだマスクを外すことを躊躇する方も多いのではないのでしょうか。

コロナウイルスは、地域コミュニティにおいても大きな影響をもたらしました。おまつりの相次ぐ中止など、人との触れ合いを根幹とする活動の自粛が続いたほか、家庭ごみの増加・日中の生活騒音など、新たな問題が生じました。一方で、外出自粛や行動制限、在宅ワークなどの働き方の変化によって、地域にいる時間が増えたことで、地域での過ごし方を見直す契機ともなっています。「幅広い世代の地域住民が活動に関わりやすくするにはどうしたら良いか」、本ヒント集を地域活動の活性化のための一助としていただけると幸いです。

最後に、長期間にわたって本ヒント集の作成に取り組んでいただいた問題検討委員会委員の皆さんにこの場をお借りして感謝申し上げます。

葛飾区自治町会連合会 会長 秋本 勝利



令和元年12月、葛飾区自治町会連合会から「安定的・継続的な自治町会活動のために」という諮問事項を受けて当委員会での検討を開始しました。

「役員の高齢化・担い手不足」「加入率の低下」「活動への参加人数の低下」「情報の発信・共有」など、地域活動における課題の核心について、委員の皆さんと議論を交わしてまいりました。

駅周辺や川端の地域、集合住宅や戸建て住宅が多い地域など、各自治町会におかれましては、それぞれ地域事情を抱えながら運営されていることと思います。また、地域活動に携わっておられる皆様一人ひとりも、それぞれに思いをもって取り組んでいることと存じます。

本ヒント集の取組事例などをご覧になられて、実際の活動に生かしていただいたり、ご興味を持たれた団体と連絡を取っていただいたり、日頃から活動に励んでおられる皆様の背中を少しでも押すようなものとなれば幸甚でございます。

末筆ではございますが、本ヒント集の作成にあたって、取材や情報提供などにご協力をいただきました区内外の諸団体の皆様に厚く御礼申し上げます。

問題検討委員会 委員長 片岡 嘉治

自治町会活動のヒント集

目次

第1章		
担い手 を 育てる	他組織との連携	P.2 – 3
	事務負担の軽減	P.4 – 5
	役割の標準化	P.6
第2章		
加入 を 促す	集合住宅との関わり	P.8
	転入者に対するアプローチ	P.9
	活動を知ってもらう	P.10 – 11
第3章		
参加 を 呼び込む	子育て世代との関係づくり	P.13 – 15
	若い世代との関係づくり	P.16
	関わりのきっかけづくり	P.17 – 18
第4章		
情報 を 発信・共有	紙媒体の活用	P.20 – 22
	デジタルの併用	P.23 – 25
	つながりを広げる	P.26 – 27
巻末		
参考 資料	自治町会に対する側面支援	P.28
	集合住宅コミュニティ形成協議の流れ	P.29 – 30
	葛飾区のNPO法人	P.31
	問検におけるデジタルの試み	P.32

アイコン凡例

短期的に
できること



中期的に
取り組むこと



長期的に
取り組むこと

